

交通政策ニュース

ハイタクフォーラム（私鉄総連ハイタク協議会・全自交労連・交通労連ハイタク部会）

「ライドシェア新法」阻止のために闘う

「厚生労働省・国土交通省への要請」「『ライドシェア新法』絶対阻止！総決起集会」

2024年3月13日
私鉄総連総合政策局



④「ライドシェア新法絶対阻止！」「雇用と安全を破壊するな！」のプラカードを掲げる集会参加者約300人

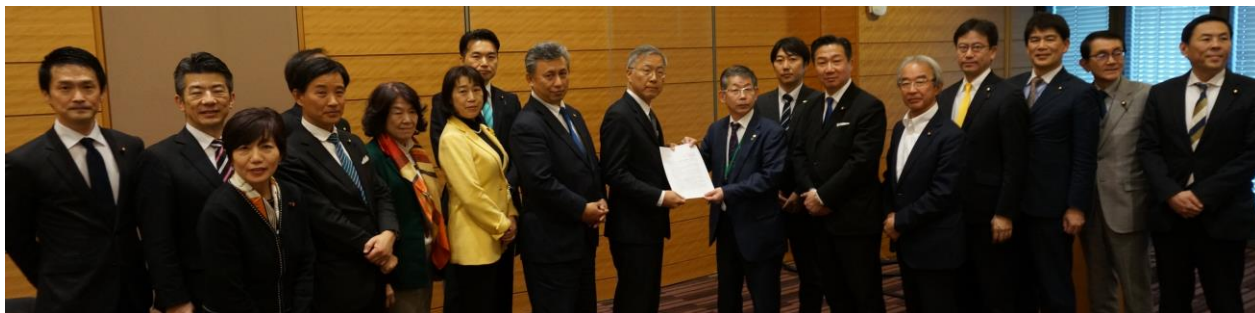
⑤危険な白タクを合法化する「ライドシェア新法」絶対阻止！へ、団結がんばろう（東京都千代田区・全電通労働会館）

厚労省・国交省要請行動 105 人／総決起集会約 300 人が結集

ハイタクフォーラムは、タクシー政策議員連盟（以下：タク議連）とともに3月7日に「厚生労働省・国土交通省への要請行動（全体105人／私鉄25人）」を行い、8日には「危険な白タクを合法化する『ライドシェア新法』絶対阻止！3.8総決起集会（全体約300人／私鉄60人）」を開き、「ライドシェア新法」阻止のための闘いに勝つことを誓い合った。

○厚生労働省へ、ハイタク運転者の労働問題に係る対応を要請

厚生労働省への要請は、衆議院第一議員会館多目的ホールで開き、梶原輝昭厚生労働省大臣官房審議官へ要請書を手渡した。



中央⑥梶原厚生労働省審議官に要請書を渡す④小川幹事と、それを囲むタクシー政策議員連盟議員

要請内容は、「ハイヤー・タクシー運転者の労働問題に係る重点要請」として、①感染症対策、②累進歩合制の完全排除（禁止）、③給与体系・労働条件・運転者負担等について、④地域別最低賃金の遵守と労働時間管理の適正化についてなど 11 項目。厚生労働省は、梶原審議官のあいさつ後、要請に対する回答を示した。

タク議連を代表し福山哲郎顧問は、「アプリを使った白タクが、どういう形の契約として始めるのか見えない」「働き方、労働力不足にどう対応するか、厚労省には実態を知っていただき、前向きに対応いただきたい」などと要望した。

意見交換では、園田修私鉄関西ハイタク労連阪急タクシー労組組織部長が「ライドシェア運転者の健康管理と自動車運転者の改善基準告示が適用されるのか」など厚労省の考え方を質した。

○国土交通省へ、タクシー関連法・附帯決議の厳格運用、白タク（ライドシェア）合法化反対を要請

続いて国土交通省への要請では、舟本浩国土交通省公共交通政策・物流自動車局担当審議官へ要請書を手渡した。



中央⑥溝上泰央代表幹事は、⑥舟本浩国土交通省審議官へ要請書を手交。それを囲むタクシー政策議員連盟議員

要請内容は、「タクシー関連法ならびにその附帯決議の厳格な運用および白タク（ライドシェア）合法化反対の要請」として、①ライドシェアについて、②運転者不足対策、③タクシー事業における適正化、④タクシー事業の活性化、⑤ハイヤー事業の適正化・活性化、⑥タクシー運賃についてなど 43 項目。国土交通省は、舟本審議官のあいさつ後、要請に対する回答を示した。

タク議連を代表し枝野幸男顧問は、「日本では、誰もが安心して安全にハイヤー・タクシーを利用することができる。世界のなかで、こうした状況の国は決して多数

ではない。白タクという言葉を知っているのは、私たちの世代が一番若い世代ではないか。逆に言えば、白タクというリスクを感じることなく、この国では生きることができた。ハイタク制度がスタートした時から、努力の積み重ねのもとで出来上がっている、安全で安心して利用できるハイヤー・タクシーは、世界に誇るものであり、海外から観光客が来ていただけるベースになっている、ひとつの重要な公共インフラだと思っている。これを守り、次の時代へと引き継いでいくということが職場で働いている皆さん、政治を司っている私たち、そして国土交通政策を担っていただいている国土交通省にとって、大事な歴史的な役割ではないか。こうした歴史や実情を十分に理解せず、思いつきのようなライドシェアを強引に進めるということに対しては、何よりもハイタクフォーラムの皆さんが全力で声を上げてきていただいている。それに押されて私たちも頑張っており、国土交通省にも最大限のご尽力をいただいているが、ここから最後の闘いが始まる。さらなる奮闘をお願いしたい」などと、ハイタク産業労使と国交省にエールを送った。さらに「思いつきのようなライドシェアがこれ以上、変な方向に進んでいかなないようにするためには、白タクを認めない範囲のなかで、運転者不足を一日も早く解決する、安全・安心のもとを守ることに尽力いただきたい。政治も全力でバックアップする」などと決意を述べた。

意見交換では、①園田阪急タクシー労組組織部長が「ライドシェアの営業方法と法違反時の責任の所在」、②内山篤私鉄関東ハイタク協グリーン新町労組委員長が「ライドシェア新法は、プロ運転者の安全・安心輸送と産業を崩壊させる。タクシー運転者の環境を守っていただきたい」、③岡本雅信私鉄九州ハイタク労連委員長が「営業区域の規制について」、④吉永順一私鉄関東ハイタク協シンセツタクシー労組書記長が「二種免許取得費用の助成と運転者募集PR費への補助」などで国交省の考えを質した。

○危険な白タクを合法化する「ライドシェア新法」絶対阻止！3・8総決起集会

ハイタクフォーラムは3月8日、危険な白タクを合法化する「ライドシェア新法」絶対阻止！3・8総決起集会を、東京都千代田区「全電通労働会館」で開いた。

ライドシェアは公益・国益を損なうものであり、導入の如何によって日本人の民度が試される



㊦ライドシェア新法阻止に向けて語る藤井聡京都大学教授と㊧藤井教授のレジюмеを読む参加者

集会は、志摩卓哉私鉄総連ハイタク協議会議長の司会で始まり、溝上泰央ハイタクフォーラム代表幹事による主催者あいさつ後、藤井聡京都大学教授が「ライドシェア新法は、業界の秩序崩壊に止まらず、公益や国益を損なうことは明らか」「タク

シーが提供している安全・安心は、ライドシェアでは提供できない」「タクシーは不足しているどころか余っている」「アプリ配車システムは相当程度進み、地域は乗合、デマンドがある」など、ライドシェア推進論者の主張を論破。「日本人の民度が試されており、理性を信じたい」など、新法阻止に向けた闘いを激励した。



「守ろう公共交通」の緑腕章を付けて集会に臨んだ私鉄総連ハイタク協議会

連帯あいさつには、芳野友子連合会長、住野敏彦交運労協議長、浦田誠国際運輸労連政策部長、小宮山泰子タク議連幹事長、逢坂誠二立憲民主党代表代行、古川元久国民民主党国会対策委員長、坂本克己全国ハイヤー・タクシー連合会最高顧問が駆け付けた。

また、山根香織主婦連合会常任幹事は「消費者は、何より安全と安心が保たれた輸送サービスの提供を望んでいる」「運転者には相応の質や経験が求められる。空いた時間にお小遣い稼ぎの感覚でやれる仕事ではない」「事故やトラブルが起きてからでは遅い。安全確保や利用者保護など、丁寧な議論もなく決められようとしているライドシェア導入は反対」などと主張。

「被災地で活躍する『公共交通のタクシー』について」では、全自交労連石川の市野晃司委員長が「被災地のタクシーは、廃業寸前になりながら懸命に頑張っている。自宅が被災し、避難所から通勤し、エッセンシャルワーカーとして緊急事態に対応しているが、国が推し進めるライドシェアは、緊急時にタクシーのような対応ができるのか」など、被災地で活躍する「公共交通のタクシー」の現状を報告した。



集会アピール案を読み上げる
私鉄関東ハイタク協日の丸交通
東京労組の遠藤みゆきさん

集会は、私鉄関東ハイタク協議会日の丸交通東京労組の遠藤みゆきさんが「いま『ライドシェア新法』という愚かな法律が検討されている。自らの利益のみを追求するプラットフォームが、一般のドライバーを無責任に使い捨てにするライドシェアは、交通の安全と安心を破壊し、雇用を破壊し、地域公共交通を破壊する行為にはほかならない。公共交通を担う私たちは、絶対に『ライドシェア新法』を認めることはできない」「ライドシェアを阻止する私たちの闘いは、この国で生きる全ての人々の安全・安心、この国で働く全ての労働者の生活、そして、この国で暮らす全ての人々の移動する権利を守る闘いである」「私たちは公共交通で働く者の使命と矜持を胸に、全力で『ライドシェア新法絶対阻止！』のために

闘う」としたアピール案を読み上げ、全体の拍手でこれを採択し、団結がんばろうで締めくくった。

以上